

研究の成果を社会生活に…科学技術と社会のあり方を議論する

— 「医療」「環境」「科学と法」の取り組みから —

趣 旨

3.11以降、科学技術が大きく関わる問題を、専門家やテクノクラート任せにするのではなく、社会にある一人ひとりが当事者として向かい合っていくとする機運にあります。このような問題解決を目指しているのが、JST RISTEX*「科学技術と人間」研究開発領域です。科学技術と社会の間に生ずる問題の解決、特に問題を取り巻くさまざまな関与者の相互作用（協働、コミュニケーション…）を通じた問題解決のあり方について、研究開発が行われています。

今まさに時代が求めている取り組みの芽生えを、研究開発段階で終わらせることなく、社会のために役立てるためにはどうすればよいでしょうか。日本科学技術ジャーナリスト会議の会員と一緒に議論し、考えたいと思います。

武部 俊一（JASTJ 会長）



「科学技術と人間」領域総括・村上陽一郎氏からのメッセージ

科学・技術の研究成果が、市民の社会生活に直接強い影響力を持つ現代に、一般の市民がひたすら受け身で、結果を追認するだけの状況を、何とか改善する余地はないものか、それを目指してRISTEXの私どもの領域は活動してきました。それは科学技術ジャーナリストの活動とも通じるところがあると確信します。多くの方々の参加と活発な議論を期待いたします。

日 時 2012年7月13日(金) 18時30分～21時00分

会 場 JST 東京本部別館 2階 セミナー室（東京都千代田区五番町7 K's 五番町ビル）

参加費 無料、JASTJ 会員優先 定員 60名程度

（終了後、同じ会場で会費制(500円程度)での簡単な懇親会を行います）

プログラム

- 18:30 開会
- 18:30～18:35 本日のミニフォーラム開催にあたって
 - … 武部俊一（日本科学技術ジャーナリスト会議 会長）
- 18:35～19:00 「科学技術と社会の相互作用」についての問題意識
 - … 村上陽一郎（東京大学 名誉教授、東洋英和女学院大学 学長）
- 19:00～20:00 プロジェクトからの発表・問題提起**
 - … 「自閉症にやさしい社会：共生と治療の調和の模索」大井学（金沢大学 教授）
 - … 「不確実な科学的状況での法的意思決定」中村多美子（リブラ法律事務所 弁護士）
- 20:00～21:00 総合ディスカッション
 - … コーディネーター：小林傳司（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 教授）
- 21:00 閉会

* (独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

** 発表するプロジェクト等は予定です。後日変更になる可能性があります。

■参加申し込み 日本科学技術ジャーナリスト会議事務局 E-mail : hello@jastj.jp

■問い合わせ先 (独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター内 (河本・田中)

E-mail : kagakuforum@ristex.jp TEL : 03-5214-0132

〈会場アクセス〉



〈参考〉 JST RISTEX 『科学技術と人間』 研究開発領域 WEB サイト <http://www.ristex.jp/science/>

「科学技術と人間」研究開発領域

研究開発プログラム「科学技術と社会の相互作用」 (プログラムの期間・規模)6年、研究費10億円程度

目標:

- 1 科学技術と社会の間に生ずる問題について、関与者が協働して評価・意思決定し、対処する方法及びシステムの構築に資する成果を創出する
- 2 社会との相互作用を通し科学技術の変容の実態と課題を把握し、対応方策を提言する

公募による研究開発プロジェクト

<ul style="list-style-type: none"> ○地域に開かれたゲノム疫学研究のためのながまルール ○先進技術の社会影響評価(テクノロジーアセスメント)手法の開発と社会への定着 ○森林資源のエネルギー化技術による地方の自立・持続可能な地域経営システムの構築 ○市民と専門家の熟議と協働のための手法とインタフェイス組織の開発 ○地域主導型科学者コミュニティの創生 ○政策形成対話の促進・長期的な温室効果ガス(GHG)大幅削減を事例として ○海域環境再生(里海創生)社会システムの構築 ○多視点化による「共有する医療」の実現に向けた研究 ○アクターの協働による双方向的リスクコミュニケーションのモデル化研究 ○自閉症にやさしい社会:共生と治療の調和の模索 ○科学技術情報ハブとしてのサイエンス・メディア・センターの構築 ○不確実な科学的状況での法的意思決定 	<ul style="list-style-type: none"> 明石 圭子(長浜市) 城山 英明(東京大学) 那須 清吾(高知工科大学) 平川 秀幸(大阪大学) 佐藤 哲(長野大学) 柳下 正治(上智大学) 柳 哲雄(九州大学) 行岡 哲男(東京医科大学) 飯澤 理一郎(北海道大学) 大井 学(金沢大学) 瀬川 至朗(早稲田大学) 中村 多美子(リブラ法律事務所)
---	--

具体的な提案を作成するための企画調査も実施

公募

研究開発プログラム「21世紀の科学技術リテラシー」 (平成21年度で終了)

領域総括

領域アドバイザー